

ガイドラインの検証・見直しについて

1. 現状と課題

(1) アクションプランにおいて、公的負担の軽減と民間投資の喚起を図りつつ、経済再生や豊かな国民生活に資するインフラの整備・運営・更新を実現するため、民間と地域の双方にとって魅力的な PPP / PFI 事業を重点的に推進することとしている。

(2) このためには、各省における具体的取組に加え、以下のような観点からの環境整備が重要。

- ①公共施設等運営権制度の創設や民間資金等活用事業推進機構の設立を踏まえた、独立採算型事業等の促進
- ②収益施設の併用・活用など事業収入等で費用を回収する事業の促進
- ③業績連動や事業の複合化・包括化等、従来から取り組んできた事業における民間の創意工夫の発揮の促進

(3) また、PFI 事業全体の取組を推進するため、以下のような観点からの検討が必要。

- ①事業の円滑化・迅速化に資するための、手続きの簡易化・柔軟化
- ②地方公共団体の取組や民間の提案の活用を促進するための更なる方策

2. 検討の進め方

- 総合部会の下に以下のWGを設置し、ガイドラインの検証・見直しを行う。
- WGでの検討状況は推進委員会・総合部会に適宜報告し、検討を進める。

